

水稲除草剤(拡散性粒剤)について

八十八夜の別れ霜の言葉のとおり、本格的に暖かくなってまいりました。新型コロナウイルス感染拡大は収束に向かいつつも未だにその脅威は去ってはおられません。皆様方におかれましては体調には十二分に気を付けていただきますようよろしくお願い申し上げます。海を渡ったアメリカでは大谷翔平選手が世界的スーパースターと注目されております。本情報誌も皆様方に注目いただけるような内容としていきたいと思っておりますので、今年度も何卒ご愛読いただけますと幸いです。

さて、近年、農業経営体のうち個人経営体は減少している一方で、団体経営体（特に法人経営体）は増加している背景にあります。それに伴い、1経営体あたりの経営耕地面積も増加している中で、年々、農薬散布の省力化技術への期待が大きくなっております。そこで今回は、水稲除草剤の省力化技術として期待されている拡散性粒剤、エア剤についてご紹介いたします。

1. 拡散性粒剤/エア剤

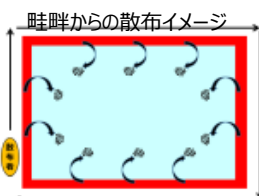
高い拡散性を有した新規拡散型製剤であり、さまざまな散布方法が可能となるため、省力化技術として期待されている。有効成分は風と圃場の水流によって圃場全体に拡がるため、1ヘクタール規模の圃場でも、圃場内に入って散布する必要がなく、作業労力の軽減や散布時間の削減につながる。

主な散布方法について以下に示す。(※エア剤は無人航空機による散布のみ)

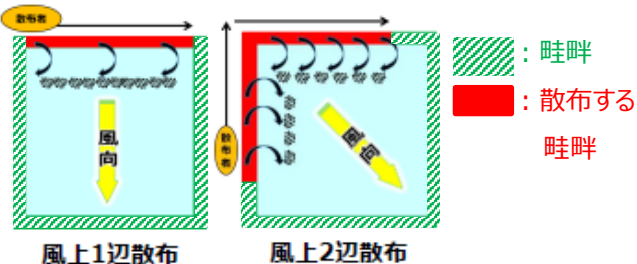
①湛水周縁散布



計量カップやハンスコップ等を用いて水田内へ散布する。
※畦畔から数回に分けて投入すること。



②風上散布



顔に風を感じる程度（風速 2m/s 以上）で、1.5ヘクタール以下の整形圃場であれば、風上側の畦畔1~2辺より散布する。

【ここに注意！】

- 藻類や稲わら等の吹寄せへの散布
- 畦畔際への散布
- 風下からの散布



拡散不良の原因に！！



③ドローン散布（無人航空機による散布）



・拡散性粒剤は圃場面積に合わせて秤量後、薬剤タンクに入れて散布する。

※薬剤タンク内に全量が入り切らない場合には、2回に分けて散布するようにすること。

※対応機種・シャッター開度は各メーカーへお問い合わせください。



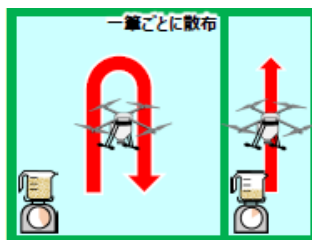
・ドローン散布では圃場中央部を往復しながら規定量を散布する。

※拡散性を持っているため、畦畔際への散布は必要なし。

※畦畔から約 10m 安全距離を取って飛行散布することで、突風等での隣接圃場へのドリフト防止につながる。

【ここに注意！】

ドローンなど無人航空機で散布する場合は、畦畔ごとで仕切られた一筆ごとに、必要薬量を計算して散布すること。



主な拡散性粒剤一覧表

メーカー名	愛称	薬剤名	規格	使用量	粒径	薬剤写真（参考）
クミアイ化学	豆つぶ	エンペラー豆つぶ	250g×20,2.5kg×4	250g/10a	3～8mm	
		オリブライト豆つぶ	250g×20			
		ワイドパンチ豆つぶ	250g×20			
		コラトップ豆つぶ	250g×20			
		スタークル豆つぶ	250g×20			
協友アグリ	FG剤	サラブレットKAI400FG	400g×20,4kg×1	400g/10a	1.5mm	
		ジェイフレンド400FG	400g×20,4kg×1			
		アッパレZ400FG	400g×20,4kg×1			
北興化学	楽粒	サキガケ楽粒	250g×12,2.5kg×2	250g/10a	2～3mm	
		ワザアリ楽粒				
日産化学	エアー粒剤	シグナスエアー	900g×1	900g/10a	1.5mm	
		レプラスエアー	1.2kg×1	1.2kg/10a		

【参考】水稻除草剤の上手な使い方/田植同時処理のポイント

近年、水稻除草剤は年々進化を遂げ、高性能な有効成分や省力化を可能にする製剤が開発されている。このことは、水稻栽培における除草作業の労力軽減に大きく貢献している。しかし、優れた除草剤も、正しく使わなければその能力を発揮することができない。

参考までに、水稻除草剤の上手な使い方および田植同時処理のポイントについて整理した。

①水稻除草剤の上手な使い方

①十分な湛水を確保する

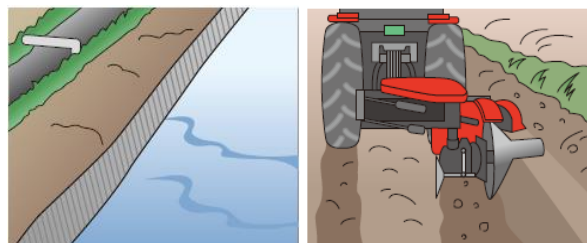
- 1キロ粒・フロアブル：水深 3～5 cm、ジャンボ：5～6 cm

②水の出入りを止め

- 除草剤の散布前に水尻と畦畔が水漏れしていないか確認を行う。

③ 3～4 日間は湛水状態を保ち、7 日間は止水する

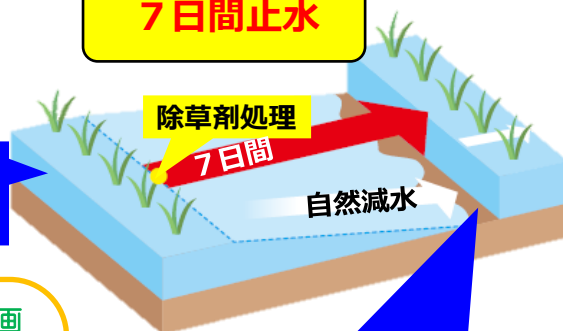
- 除草剤散布後は、田面が露出する状態になったら、1～2 日程度、田面が出て問題ないが、通常の水深（3～5 cm）になるまで静かに入水する。
（田面にできた薬剤の処理層を壊さない。）
- 7 日間は落水・かけ流しをしない。



※漏水は効果不足の原因となる。畦塗り、畦シートの活用、水尻の点検を実施する。

7 日間止水

たっぷり入水
5 cm



- 1～2 日程度田面が出て大丈夫
- その後ゆるやかに給水

【参考】協友アグリ作成ホワイトボードアニメーション動画

★なるほど納得！ワンポイント除草剤口座★

①なぜ FG 剤は拡散するの？

②水稻除草剤の効き方



②田植同時処理のポイント

【Step 1】田植え前の耕起、代かきは丁寧に！

- 田面は極力平らにする。凹凸があると効果ムラ、薬害の原因となる。

【Step 2】稲は適正に植え付けを！

- 代かきから移植までの期間を短くし、移植深度を 3 cm 確保する。

⇒日数が空くと雑草が伸び、除草剤の効果がフレてしまう。

※前処理剤を散布した場合は登録内容を守る。

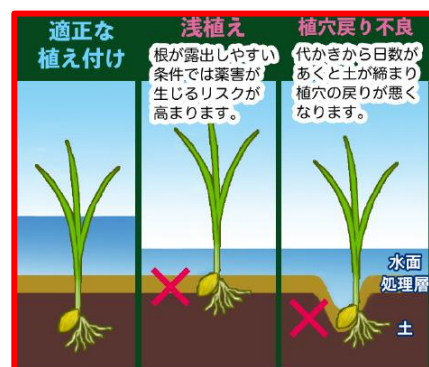
- 田植え機のスピードが速いと、浅植え、浮き苗が起こりやすくなるため注意。

【Step 3】田植えが終わったら速やかにたっぷり入水を！

- 田植え終了後、水尻が締まっていることを確認して速やかに入水する。

⇒水を落とした状態のままだと薬害リスクの上昇や除草効果が劣る場合がある。

- 水深 3～5 cm を目安に入水し、最低でも 3～4 日は湛水状態を保つ。



水稻除草剤の効果低減防止に！ 除草剤散布前の注意事項

プラスα
マンガシリーズ
第118弾！！



*引用：FG 剤の上手な使い方（協友アグリ）、豆つぶ剤技術資料（クミアイ化学）、エアー剤技術資料（日産化学）

*6月号に記載されている内容はJA全農ながさきのホームページに掲載されています。

JA全農ながさきホームページURL：<http://www.ns.zennoh.or.jp>

JAグループ「安全防除運動」展開中

- ◎農産物の安全……今、消費者がもっとも願っている「食の安全」。それは私たち生産者の願いでもあります。きちんとした農薬を選び、正しく使って、日誌に記録を残す。これを続けることが、消費者に信頼される農産物づくりにつながります。
 - ・使うのは、もちろん登録農薬！
 - ・安全使用・事故防止へ、ラベル確認を習慣に！
 - ・使用後も、防除日誌で“安全証明”
- ◎環境の安全……土や水といった自然の恵みを利用して営まれている農業。皆さんが守り続けてきた大切な田畑を、次の世代に残すためにも、自然環境に十分配慮した農薬散布を心がけましょう。
 - ・必要量だけ希釈し、使い切る。空容器は適正処理を！
 - ・水稻除草剤の散布後は、圃場外への流出防止策を！
- ◎農家の安全……軽装備による散布中の事故や子供の誤飲事故が増えています。いくら周辺の環境に配慮しても自身の健康を害しては何にもなりませんし、周辺住民との信頼関係を築くためにも農薬の保管管理にはいっそう注意したいものです。
 - ・暑さに負けるな。完全防備！
 - ・使用後は“薬の戸締り”万全に！



安全使用基準を守りましょう